

～ご案内～

地域活動支援センター「とぼす」開設

「活動」と「居場所」の提供として、この度いまいせ心療センター内に集う場所ができました。

- ★ 対象者
精神に障害をお持ちの方
地域生活支援受給者証をお持ちの方

- ★ 料金
1回 539円 (自己負担額)
* 飲食代、行事などの交通費や参加費などは実費。

- ★ 開所日時
月～金 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始は休日)
お問い合わせ・・・電話45-1120

認知症についての講習会 (申込要)

- ★ 日時 平成22年3月18日(木) 13:30～15:30
★ 場所 一宮地場産業ファッションデザインセンター
★ 主催 一宮福祉サポート 電話44-0294
★ 内容
・一部 (13:30～14:00)
「高齢になっても元気で暮らせるために～」
講師 滝藤京子氏
一宮市福祉子ども部高齢福祉課
高年福祉グループ主査 (保健師)
・二部 (14:00～15:30)
「行動障害 BPSD の対応について」
講師 水野 裕氏
社会医療法人 杏嶺会
いまいせ心療センター認知症センター長

4月の定例会・勉強会

日程 平成22年4月4日(日)
定例会 9:30～10:00
定例勉強会 10:00～12:00
「研修発表」



3月の予定

- 1日(月)会報「まごころ」発行
2日(火)ミニデイサービス
3日(水)サービス提供責任者会議
4日(木)ふれあいサロン
5日(金)第8回福祉たすけあいフォーラム参加
7日(日)定例会・定例勉強会
9日(火)ミニデイサービス
10日(水)サービス提供責任者会議
一宮介護サービス事業者連絡協議会
訪問部会年度末総会参加
11日(木)ふれあいサロン
16日(火)ミニデイサービス
17日(水)サービス提供責任者会議
障害児の卒業後を考える会開催
18日(木)ふれあいサロン
児童デイ事務局会議
「認知症」講習会参加
22日(月)障害児支援セミナー参加
児童デイ実践者向けセミナー参加
介護サービス情報公表訪問調査
23日(火)ミニデイサービス
24日(水)サービス提供責任者会議
25日(木)ふれあいサロン
児童デイ定例会
30日(火)ミニデイサービス
31日(水)サービス提供責任者会議



まごころ

地域づくり研修会報告

■地域力を考える

先日、大分県で起きた火事の際、地域住民がバケツリレーで消したというラジオ報道を聞いて地域力があるなど感じ、長谷川氏の講演を思い出しました。

2月5日(金) 県立大学に於いて「地域の力、これからの地域づくりに向けて」と題して長谷川幸介氏の講演会がありました。

その中で長谷川氏のご自身のお母様が地域の人々に支えられた様子を「地域に力があって、母に友達が勢いたから、母は死ぬその時まで母の行動は『散歩』と呼ばれたのです。

特定非営利活動法人一宮まごころ

〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6

電話 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870

E-mail magokoro@owari.ne.jp

ホームページ http://www.owari.ne.jp/~magokoro/

地域に力がなくて母に友達がいなかったら、私の母の行動は何とよばれたか。『徘徊』と呼ばれたにちがいないんです。」と話されました。

『徘徊』と呼ばせない地域社会をつくる為に地域住民である私たちは何から始めたらいいのでしょうか。長谷川さんの言葉をかりれば、職場の縁、地域の縁、血族の縁それに友人の縁で地域はつながっていると言う。退職し職縁が薄くなり、家族や友人との関わりが少なくなると地縁に頼らざるをえなくなるが、その世界は時間に追われる職場の世界とはまったく違った価値観があり、簡単には入り込めないのが現実です。地域力として担う活動の重要性を改めて感じました。

児童デイは4月からの加算について申請致します

まごころ児童デイサービスでは開所以来、常に障害児の立場に立った指導を行うために指導員を基準を超えて配置して活動しております。

この様な人員配置をする事業所に対して昨年より「指導員加配加算」と「福祉専門員配置加算」が制度として認められるようになりました。

そこで、この加算を申請し、児童デイサービスの開場所であるまごころ広場の環境整備や適切な指導及び訓練の充実を図り、児童デイサービスを安定的に提供したいと考えております。

尚、この申請により次のように利用料が変更になります。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

Table with 3 columns: 1日当たりの自己負担額(円), 現行, 4月以降. Rows include: 基本報酬 (689), 送迎加算 (108), 指導員加配加算 (193), 福祉専門員配置加算 (10), 実費負担(おやつ代、教材費) (300), 合計 (1,097 / 1,300).

一宮市民病院緩和ケア研修会より

平成22年2月20日(土)「最近の在宅緩和ケア事情～在宅でもここまでできる～」と題して講演会が開催されました。

10年にわたり在宅医療を続けてこられている、すぎもと在宅医療クリニック院長の杉本由佳先生のお話で「患者さんが在宅に帰りたいと言う希望をかなえるためには、病院とのつながりを持って、かかりつけ医や看護師、ケースワーカー介護職等の連携を図る事」が必要と話されました。

また介護職への要望として、

- ・患者さんには経済的な負担がかなりかかるので、介護のスキルアップを高めて、決められた時間内にできる限り多く関わってやってほしい。
・モルヒネなどの薬の効能や使い方を介護に関わる人にも知っていてほしい。

患者とその家族の心と生活を支え続ける在宅医療の現状を知りました。



Table with columns: 会員数, 市民事業, 介護保険, 障害福祉サービス. Rows include: 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月.

NPO法人一宮まごころ

事業内容

